

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 082	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題 魚類の大量死の原因究明について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 三浦半島の河川では毎年5～7月頃に降雨後、大量の魚類がへい死する事例が発生する。その原因として農薬が疑われているが、現場確認では農薬の使用は確認できず、河川水の分析でも原因不明なのが現状である。遡上した魚類が降雨に伴う流入淡水の影響による急激な塩分低下で死んだ可能性なども考えられる。魚類大量死の原因究明をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 河川における魚類の大量死は、へい死魚の発見時に原因となった現象が確認できないことが多いため、原因究明は極めて困難です。 水産技術センター内水面試験場は、河川で淡水魚がへい死が確認された際に、各地域県政総合センターなどが回収したへい死魚について魚病の発症の有無などを検査しております。しかし、相模原市に所在する同試験場が、三浦半島において発生した大量へい死について、原因究明につながる速やかな現地調査を実施することは、事実上不可能です。 従って、今後、提案機関に対し大量へい死発生時の原因究明に資する資料を提供して、原因究明が進むよう協力してまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			